

Radiomics 特徴量による転移性脳腫瘍に対する放射線治療効果予測に関する研究

1. 研究の対象

2010 年 4 月～2026 年 3 月に当院で転移性脳腫瘍に対する放射線治療を受けられた方
もしくはこれから受けられる方

2. 研究目的・方法

全がん患者の約 20-40%は転移性脳腫瘍を来すと言われ、腫瘍が増大すると様々な神経学的症状を発症し、患者の生活の質を著しく損います。放射線治療は転移性脳腫瘍に対する有効な治療戦略と考えられます。従来より、放射線治療の効果を予測するためには、線量体積ヒストグラムから計算された線量指標が使用されます。しかしながら、転移性脳腫瘍は大きさが症例によって大きく異なり、「造影効果が均質」・「造影効果が不均質」・「リング状の造影効果」など、線量体積ヒストグラムでは考慮できない特徴量を有しています。Radiomics は人間の目では測ることができない数十から数百の画像の特徴量を抽出することができます。本研究では、Radiomics 特徴量によって転移性脳腫瘍に対する放射線治療効果を予測するモデルを開発します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：CT 画像、MR 画像など、放射線治療実施に必要であった情報

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 大平新吾 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上